



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.834 2012年5月21日

ARIBからのお知らせ

第2回定時総会、第23回電波功績賞表彰式並びに同祝賀会開催のご案内

6月20日(水)に、下記により第2回定時総会、第23回電波功績賞表彰式並びに同祝賀会の開催を予定していますので、お知らせいたします。

なお、正式な開催通知などは、6月1日に開催予定の第4回理事会で承認を得た後にお知らせいたします。

記

1 定時総会

- (1) 日時 6月20日(水) 15:30~16:15
(2) 場所 ホテルニューオータニ 鳳凰中西の間 (タワー宴会場階)
千代田区紀尾井町4-1 (電話 03-3265-1111)

(3) 予定議題

- ・平成23年度事業報告及び収支決算について
- ・公益目的支出計画実施報告書について
- ・役員等の選任について
- ・高度無線通信研究委員会規程の一部改正について
- ・その他

(定時総会と電波功績賞表彰式との間に第5回理事会が開催されます。)

- 2 電波功績賞表彰式 16:40~17:15
ホテルニューオータニ 鳳凰中西の間 (タワー宴会場階)
- 3 祝賀会 17:20~19:00
ホテルニューオータニ 鳳凰東中の間 (タワー宴会場階)

ARIBの動き

第96回電波利用懇話会を開催

5月15(火)に、第96回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省情報流通行政局放送政策課 課長補佐 小林 知也様を講師にお迎えし、「ホワ

イトスペースを利用したエリア放送の制度の概要について」というテーマでご講演いただき、70名近い会員の皆様に受講いただきました。また、総務省情報流通行政局放送技術課 映像計画係長 工藤 篤様にも出席いただき、技術的な観点からの補足説明が行われました。

講演では、エリア放送の概要ならびに制度と参入手続きについての説明、優先順位に対する考え方及び今後の制度整備について講演をいただきました。

全体をとおり受講者の高い関心を集め、熱心に聴講いただき、ホワイトスペース利用システム間の割当上の優先順位などに関して、数多くの質疑応答が行われました。



第 96 回電波利用懇話会の様子と講師の小林課長補佐様

総務省からのお知らせ

松崎総務副大臣のインド及びインドネシア訪問結果

【平成 24 年 5 月 7 日の総務省報道資料から】

松崎総務副大臣は、平成 24 年 4 月 29 日（日）から 5 月 4 日（金）までの日程で、インド（デリー）及びインドネシア（ジャカルタ）を訪問しました。

インドでは、第 1 回日・インド閣僚級経済対話に出席し、ICT 分野における日印協力及び課題について意見交換を行いました。また、シン首相への表敬訪問及びサルマ電気通信規制庁委員長との個別会談を行いました。

インドネシアでは、ASEAN 事務局を訪問し、スリン ASEAN 事務総長と「ASEAN スマートネットワーク構想」等の推進について意見交換を行った他、我が国支援により設立された ASEAN 防災人道支援調整（AHA）センターを訪問しました。また、ティファトゥール通信情報大臣と、防災・デジタルデバイド解消等の ICT 分野における具体的プロジェクトの推進

について意見交換を行った後、同大臣と共に日・インドネシア間サイバー攻撃観測データ共有プロジェクトの開始式を行いました。

1 インド（デリー）訪問概要

(1) 日程 平成 24 年 4 月 29 日（日）から 5 月 1 日（火）

1.1 結果概要：

(1) 第 1 回日・インド閣僚級経済会合に出席し、日本側からは、情報通信技術（ICT）分野における課題として、インド政府による通信機器等に関する国内製品優遇政策（注 1）及び通信事業者のネットワークセキュリティ規制（注 2）等について、外国製品や外国企業に対し差別的になることのないよう、制度の見直しを含む改善を要請しました。

インド側からは、セキュリティ認証技術及び ITS（高度道路交通システム）を含む幅広い ICT 関連分野での協力関係強化の提案がありました。

(2) サルマ電気通信規制庁委員長と会談し、インドにおける周波数再割当てに関するオークションの問題や ICT を活用した防災技術協力等について意見交換を行いました。

（注 1） 国内製品優遇政策：国家安全保障の確保の目的を理由として、政府及び特定の民間企業が通信機器等を調達する場合に、一定割合以上の国内製造製品の調達を義務付けるもの。

（注 2） ネットワークセキュリティ規制：国家安全保障の確保の目的を理由として、インド国内での外国製通信機器の導入及び同国でビジネスを展開する外国系企業に対しより厳しい条件を課す規制。具体的には、外国系通信事業者に対してインドの検査機関によるセキュリティ検査義務を課したり、インド人技術者によるセキュリティ管理を義務付けたりする規制。

2 インドネシア（ジャカルタ）訪問概要

(1) 日程 平成 24 年 5 月 1 日（火）から 5 月 4 日（金）

2.1 結果概要：

(1) スリン ASEAN 事務総長と会談し、「ASEAN スマートネットワーク構想」の推進及び AHA センター（注 1）を通じた ASEAN 地域の防災ネットワークの強化に対する日本と ASEAN の更なる協力の推進について確認しました。また、AHA センターを視察しました。

(2) ウォロ气象気候地球物理庁長官と会談し、インドネシアにおける ICT を活用した防災システムの整備に関する両国間の今後の協力について意見交換等を行いました。

(3) ティファトゥール通信情報大臣と会談し、防災・デジタルデバイド解消及び情報セキュリティ等の ICT 分野におけるシステム整備及び技術協力等、具体的プロジェクトの推進について合意しました。本会談後、同大臣立ち会いの下、サイバー攻撃観測データ共有プロジェクト（注 2）開始式及び同国におけるワンセグを活用したデジタルデバイド対策への協力に係る文書の交換を執り行いました。

（注 1） ASEAN 防災人道支援調整（AHA）センター：ASEAN 域内の自然災害や緊急事態への対応の際に、ASEAN 加盟国の災害対応機関間の連絡・調整を行う機関。

（注 2） サイバー攻撃観測データ共有プロジェクト：サイバー攻撃に関する情報を収集・

分析の上、情報共有を行い、サイバー攻撃発生の予知・即応を可能とする技術を確立するプロジェクト。

「携帯電話等の周波数有効利用方策」のうち「第4世代移動通信システム（IMT-Advanced）の技術的条件」についての関係者からの意見聴取

【平成24年5月15日の総務省報道資料から】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 携帯電話等高度化委員会では、「携帯電話等の周波数有効利用方策」のうち「第4世代移動通信システム（IMT-Advanced）の技術的条件」について検討を開始し、平成25年6月頃を目途に報告書の取りまとめを行う予定です。

ついては、平成24年6月20日（水）に開催を予定している同委員会において、関係者からの意見陳述の機会を設けることとしますので、希望する者は下記1～4の要領により申し出てください。

1 意見陳述を行える関係者

「第4世代移動通信システム（IMT-Advanced）の技術的条件」に関し、学識経験又は知見を有する者（国籍を問わない。）。

2 意見陳述の方法

意見陳述は、平成24年6月20日（水）開催予定の情報通信審議会情報通信技術分科会携帯電話等高度化委員会において日本語で行うこととします。

3 意見陳述のために必要な手続

意見陳述を行うためには、意見陳述人の氏名（法人又は団体（以下「法人等」という。）の場合は、法人等の名称及び代表者の氏名並びに意見陳述を行う者の役職及び氏名とする。）、職業（法人等の場合は記載を要しない。）及び意見の要旨を記した文書を郵便、FAX 又はE-mailにより平成24年6月5日（火）18時（必着）までに下記4の提出先に提出してください。審議時間の関係から所要の調整をさせていただくことがあります。

なお、意見陳述を行うために要する費用は、すべて意見陳述人の負担とします。

4 内容の問い合わせ先及び意見の提出先

携帯電話等高度化委員会事務局（総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課）

担当：中越課長補佐、松元第二技術係長

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館

電話：(03) -5253-5893

FAX：(03) -5253-5946（電話連絡後、送付願います。）

E-mail enhanced-mobile_atmark_ml.soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、@を「_atmark_」と表示しています。メールをお送りになる際には、「_atmark_」を@に直してください。

【関係報道資料】

- ・第4世代移動通信システム（IMT-Advanced）の技術的条件 ー情報通信審議会での審議開始ー（平成24年4月25日）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000093.html

世界初、完全無線式列車制御システム「SPARCS」が
中国・北京地下鉄15号線にて営業運転開始

日本信号株式会社

このたび、日本信号株式会社が独自開発した完全無線式列車制御システム「SPARCS」(Simple-structure and high-Performance ATC by Radio Communication System)を使用した営業運転が、中国・北京地下鉄15号線において開始されました。これまで列車と地上との通信を無線で行った事例はありますが、地上無線機同士の通信も無線で行うシステムとしては世界初となります。

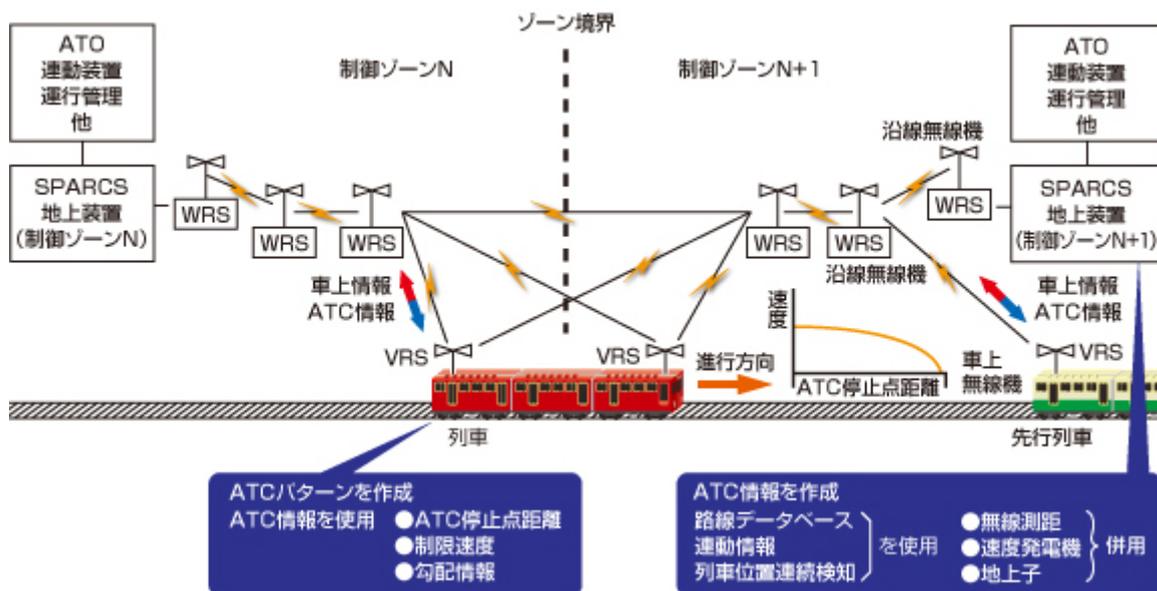
北京地下鉄15号線は、一昨年12月30日に従来型の列車位置検知方式である車軸カウンタを用いた点検知方式で第1期区間(約20km)が開業していましたが、昨年12月31日にSPARCSにより第1期区間及び第2期区間(約11km)が開業しました。さらに2014年開業予定の第3期区間(約8km)と合わせると、全長約40kmの路線になります。

本SPARCSシステムは、無線通信により連続的に列車位置検知/制御を可能とする次世代列車制御システムであり、軌道回路による固定閉塞方式と比較して運転間隔を短くできる移動閉塞が可能になりました。さらに、既設の列車制御システムで走行する車両とSPARCSで走行する車両の混在運転も可能であり、運用自由度の高いシステムを実現しています。また、電力・機器コストは、従来型比30%の削減が可能であり、ケーブル費用やその設置費用も大幅に削減できます。その他、システムダウン復旧後に列車位置を自動的に検知でき、妨害電波の耐干渉性、情報解読防止、リアルタイム性の確保等優れた機能があります。

世界的な環境保護の高まりから各国において鉄道システムが見直されており、当社は、このSPARCSを国際市場へ拡販してまいります。

<http://www.signal.co.jp/>

◆システム構成例



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp